



令和5年6月15日
海上幕僚監部

(お知らせ)

日米加仏共同訓練（ノーブル・タイフーン）について

令和5年度インド太平洋方面派遣（IPD23）部隊は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けて連携を強化すべく、次のとおり米海軍、カナダ海軍及びフランス海軍と共同訓練を実施しました。

1 目的

- （1）海上自衛隊の戦術技量の向上
- （2）海上自衛隊と参加国海軍との連携の強化

2 期間

令和5年6月10日（土）～6月14日（水）

3 訓練海空域

沖縄南方から南シナ海

4 参加部隊

- （1）海上自衛隊
護衛艦「いずも」・「さみだれ」（IPD23第1水上部隊）
- （2）米海軍
空母「ロナルド・レーガン」、
巡洋艦「アンティータム」・「ロバート・スモールズ」、
駆逐艦「ラファエル・ペラルタ」・「チャンフーン」、補給艦「ラパハノック」
- （3）カナダ海軍
フリゲート艦「モントリオール」
- （4）フランス海軍
フリゲート艦「ロレーヌ」

5 訓練項目

各種戦術訓練（対水上戦、対空戦、対潜戦、LINKEX等）、洋上補給

6 その他

本訓練は、米国主催大規模広域訓練2023（LSGE23）の一環として実施したものです。



左から「ラパハノック」、「いずも」



日米訓練参加者